

教えて！いんべ先生!!

“表現したい”が工作遊びの原動力

子供の工作遊びはさまざまです。大きな段ボールでおうちを作ったり、お菓子の箱を使って自動車を作ったり。作ったもので遊ぶために工作を始めることもあれば、作ることで自らの楽しさを味わっていることもあります。「表現」したいという思いを持つことはとても大切です。この思いは学びの基礎になります。大人はつい手伝ってあげたくなりますが、まずは見ていてあげてください。そして大人は、子供の「表現」したいという思いを膨らませるように話しかけてみましょう。このようなやりとりが、子供の工作遊びへのモチベーションにつながります。



いんべ かずと
井迎 和杜 先生

広島文教大学
教育学部教育学科 講師

研究分野は保育学、幼児教育
学／保育学、幼児教育学等に
関する研究多数



カスタネット
の作り方

身近なモノでつくって 遊ぼう！



釣りゲーム
の作り方



「ぱくぱくカスタネット」

ペットボトルのふたと画用紙や牛乳パックを使って、かわいいカスタネットづくりに挑戦。ラッピングワイヤーや折り紙などを使って、目や耳、手などを付けて、カエルやネコ、ウサギなど、自由につくってみましょう。ペットボトルのふたの素材によって、音が変わるので、親子で聞き比べをしたり、カスタネットを鳴らしながら歌を歌ったりしても楽しいですね。



「釣りゲーム」

海の生き物を作って魚釣り！紙皿や紙コップで海の生き物を、新聞紙で釣り竿をつくりまします。その他、食品トレイや牛乳パック、ビニールひも、ストローなど、家にある材料を使って、自由な発想でつくってみましょう。「たくさん足のあるタコだね、新種発見だ」など会話を楽しんだり、たくさん生き物をつくって家族みんなで釣り大会をしたり。釣れたときは「やったね」と喜びを分かち合いましょう。

「 Hotline 教育ひろしま」では
楽しい工作を紹介中

Hotline 教育ひろしま

つくって遊ぼう！ 広島

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/oyakoasobi.html>



家庭で「ちょっとやってみよう」と思える
役立つ情報を発信中

親子コミひろしまネット

親子コミひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです！

「遊び」は「学び」

工作遊び編 幼児(3～5歳)シリーズ①⑥

工作遊び、どんなふうに関わればいいのか？

はさみで切ったものが何かの形に見えたり、偶然できたものに喜びを感じたりー。

ものづくりのきっかけは、そのような経験から始まります。

自分が扱ったものが変化していくことに、おもしろさや楽しさを感じながら遊ぶ中で、大人の共感が得られると、「もっとつくりたい!」「今度は何をつくらうか!」と、アイデアや試行錯誤が生まれます。



遊び 学び 育つひろしまっ子!

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

「遊び」は「学び」

バックナンバーはこちら ▶



工作遊びを楽しもう！

おもしろい、楽しいから広がる世界

大人の役割は？ 子供の工作、どう関わればいい？

- ① 子供が何をつくっているのか分からなかったり、すぐ飽きてしまったりするけど大丈夫？
- ② うまくできなくて泣いてしまうとき、どう声かけすればいい？
- ③ 大人は手伝うべき？
- ④ はさみなどを使わせるのは怖いけど…



子供の発達には個人差が大きく、環境によって異なります。
子供の個性や発達のペースを大切にして、温かく見守っていきましょう。

温かいまなざしが 子供のやりたいを理解しよう！

- ① 子供にとって「つくる過程」そのものが遊びです。思うようにいなくても、試して工夫することが大切。完成せず途中で終わっても大丈夫です
- ② 「どのようにしたい？」と聞き、言葉にすることで自分で気付くことができます。手伝いを求められたら「こうしたいんだね！」と理解し、さりげなくサポートを
- ③ 自分で楽しんでいる時は手を出さず見守って。自分の力でやり遂げたという満足感が大切。困っている時は一緒にアイデアを出し合い、形にしていきましょう
- ④ 手指の発達に合った道具を使い、正しい使い方を伝えましょう。4cm以下の小さな部品は誤飲に注意



今日からできる つくる時間が 想像力と創造力を育てる

興味のあるものや楽しかった経験を工作で表現します。
試行錯誤しながら思いを巡らせてつくることで想像力や創造力につながります。
「ここ、いいね!」
「どうやってつくったの?」と創意工夫を尋ねることで自信につながります



おおむね 3歳

感じる・気付く力
うごく力
人とかかわる力

- ◆ 偶然できた形を喜んだり、扱いやすい箱などをつなげて遊びます。親子でその世界を楽しみましょう
- ◆ はさみやのりなど道具が使えるようになります。切る、貼るの繰り返しを経験で、道具の扱い方に慣れていきます

おおむね 4歳

感じる・気付く力
考える力
うごく力
人とかかわる力

- ◆ 紙やリボンなどさまざまな素材を組み合わせでカバンに見立てたり、電車に乗った経験を電車づくりで表現したりします
- ◆ 手指が発達し、曲線を切ったり、テープで素材をつなげる方法を考えたりしながらつくるようになります

おおむね 5歳

感じる・気付く力
考える力
やりぬく力
人とかかわる力

- ◆ 目的に合わせて素材や道具を選び、イメージを形にできるようになります
- ◆ 長さや重さ、バランスなどを考えながらつくれるようになります
- ◆ 工夫を自分の言葉で説明し、過程を振り返ることで自信につながります

工作遊びで広がる 5つの力

自分でイメージしたことを表現する。その方法の一つに工作遊びがあります。
さまざまな素材や道具に触れ、おもしろさや楽しさを感じながら作る過程が、試行錯誤や創意工夫につながります

乳幼児期に育みたい
5つの力

感じる・
気付く
力

うごく
力

考える
力

やりぬく
力

人と
かかわる
力